

答辞

春の香りが漂い始め、陽射しに暖かさを感じられる季節となりました。

本日は、私たち卒業生のためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、心より感謝申し上げます。また、新型コロナウイルスの感染拡大が危惧される中、ご臨席頂いたご来賓、先生方、保護者の皆様に卒業生一同厚くお礼申し上げます。先程より皆様から頂いた数々の言葉を胸に、私たち一四六名は本日卒業します。

三年前の四月、初めて登校した日の桜の色や青い空、生き生きとした木々の景色を今でも鮮明に覚えています。思い返してみると三国高校で過ごした三年間はたくさんの思い出や感情で溢れています。

入学当初は、慣れない七時間授業や難しくなった勉強に苦労しました。また、校内テストは科目数が大幅に増えたため、睡眠時間を削って勉強したこともありました。しかし、つらいことばかりではありませんでした。新しい友達や先輩方と出会い、その人達と経験した数々のことはすべて大切な思い出になっています。

二年生として迎えた学校生活は、例年とは異なり、六月から始まりました。それは新型コロナウイルスの影響を受けたからです。当たり前には体験できると思っていたイベントや大会はことごとく中止になり、部活動や授業、さらには昼食時にまでも、様々な制限が設けられました。私は例年のように二年生の思い出として修学旅行について語ることはできません。しかし、このような経験があったからこそ、先生方の私達生徒に対する思いやりを強く感じる事ができました。沖縄に行くのが難しくなったときには、感染のリスクを最小限にして私達が楽しめるような代案を最後の最後まで考え続けてくださいました。毎日変わり続ける状況に頭を悩ましながらも、適切に対応していただいたおかげで、例年にも劣らない充実した一年を過ごすことができました。

三年生では、本格的に自分たちの進路と向き合いながら最後の学校行事に全力で取り組みました。中でも、一番心に残っているのは学校祭です。ここでも新型コロナウイルスの影響を受け、例年より準備期間が短縮されてしまいました。しかし、そのような状況下においても、先生方の協力や、仲間の努力によって思い出に残る学校祭を作り上げることができました。準備期間は、上手く行かないことの方が多かったものの、いつも笑ってくれる仲間たちのおかげで、とても楽しく充実した時間となりました。大きな行事が終わり、就職試験や入学試験が迫ってきました。自分の進路に対する不安や葛藤を、私を含め生徒一人ひとりが抱えていたと思います。そんな中で、進路実現に向けて毎日努力する友人たちの姿が、私のモチベーションとなっていました。自分が悩んでいるときや立ち止まってしまったときに受けた友達や先生方の言葉は今でも心に残っています。

三年間私達の学校生活に寄り添い、常に気にかけてくださっていた先生方。手間も惜しまず授業の準備をしていただいたおかげで、毎日の授業を集中して受けることができました。さらには、放課後や休み時間など、授業以外の時間も、自分たちの時間を削って進路や学校

生活について相談にのっていただきました。また、校務員さんは暑い日も寒い日も私達が快適に学校生活を過ごせるように校内、校外の清掃など様々な作業をしてくださいました。常に元気よく挨拶を返して頂いたことがとても印象的でした。先生方、校務員さん、本当にありがとうございました。

そして、どんな状況であっても私達のことを理解しようとし、一番の応援者であった家族。自分の時間を割いて毎日毎日お弁当を作ってくれました。送り迎えもしてもらいました。部活や勉強で疲れて家に帰った際には、いつも暖かく迎えてくれました。このような家族の存在が常に心の支えでした。これからは私達が支えていけるよう努力していきます。

そして、三年生の皆さん、三年間の高校生活お疲れさまでした。私はこの場所で、みなさんと同じ時間を共有できたことをとても嬉しく思います。私は皆さんからたくさんの笑顔をもらい、そして、優しさを教わりました。たくさんの幸せをありがとう。いよいよ卒業です。これからは今まで以上に競争が求められる「社会」という場所に進んで行くことになります。不安や挫折に飲み込まれそうになることもあるでしょう。そんな時に皆さんに思い出してほしい、私の好きな言葉があります。それは、「敵は自分が思うほど強くはない、自分は自分が思うほど弱くはない」という言葉です。この言葉は日本サッカー界のレジェンドであるキングカズさんがおっしゃっていました。この言葉を胸に自信を持って一步一步進んで行きましょう。

これから私達は、デジタルトランスフォーメーションにより今までの常識が覆される時代に対応していかなければなりません。そのような時代では身の回りの物や環境、そして自分自身までも大きく変化してしまいます。しかし、そのような中でも唯一変わらないものがあります。それは、過去の思い出や記憶です。この三国高校で過ごした三年間です。この三年間が楽しかったと感じている人だけでなく、つらかったと感じている人も少なからずいると思います。みなさんがそのどちらであったとしても大切な記憶です。この記憶や思い出はこれから生きていく中で絶対に私達の助けになると考えています。だから、この三国高校での三年間をずっと大切にしてほしいと思います。

最後になりましたが、本日ご臨席いただいた皆様への感謝の気持ちと共に、三国高校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれることを祈念しまして答辞といたします。

令和四年三月一日

卒業生代表 上野 凜